



スピードダウン要請

白石厚別建協が交通安全啓発

白石厚別建設協会(会長・武藤征一)と建設工業社(社長)は9月30日、交通安全の街頭啓発に参加し、札幌市白石区と北広島市でドライバーに安全運転を呼び掛けた。

同日、白石区交通安全運動推進委員会が札幌市白石区本通で、札幌厚別交通安全協会が北広島市で街頭啓発を実施。同建協メンバー30人は2班に分かれ、それぞれの活動

に協力した。

このうち、白石区では啓発に先立って決起大会が開かれ、可児敏章白石区長が「家庭や職場、地域で互いに声を掛け合い、安全で事故のない安心して暮らせる白石をつくっていき

たい」と話し、協力を求めた。

その後、国道12号と環状通の交差点で4カ所に分かれ、旗の波を呼び掛けた。



作戦を展開。「スピード落とせ」などと書かれた旗を掲げ、ドライバーに注意を喚起した。

武藤会長は「交通事故で亡くなったり重い障害を負った人のためにも、事故をなくさなくては」と話し、「建設業界ではさまざまな車両を用いる。一生事故に遭わない、起こさないという心構えが大事だ」と気を引き締めていた。

